



やらまいか

例会日：毎週火曜日 12:30 例会場：豊川商工会議所
 会長：井指光基 幹事：山城康司 SAA：笠原盛泰 会報委員長：小野喜明
 事務局：豊川市豊川町辺通4-4 豊川商工会議所会館内 Tel0533-86-2535 Fax0533-86-8889
 ホームページ <http://toyokawahoi.tank.jp> Email hoirc@sala.or.jp

本年度37回 通算第1063回 平成20年4月15日(火) 晴

ゲスト 近藤かえでさん(楓女性調査事務所代表)
 ビジター 神谷豊さん(豊川RC)
 出席報告 宮崎眞一委員長

会員総数	計算会員数	本日の出席者数	本日の出席率	3/25修正出席率
55名	43+4名	26名	51.1%	83.7%

司会進行 笠原盛泰SAA

★会長の挨拶及び報告 井指光基会長

こんにちは。先週の土曜日に春の行楽の下見と一緒に行って来ました。お昼ごはんは、奥様方に喜んで頂け



そうな会席料理ですので、是非とも大勢のご参加を頂ければと思います。源氏物語の地を訪ねるといことなので、先日テレビで源氏の話をやっていた話をします。恋多き17歳の源氏は、乳母の息子の惟光(コレミツ)と仲が良かったのです。源氏は夕顔(ユガワ)という女性に一目ぼれをしまして、密会をしていたそうです。人がいない荒れ果てたところでデートをしていたところ、夕顔が恐ろしさのあまり息絶えてしまい、その亡骸を惟光がお寺に運びました。それでも源氏は夕顔に会いたくて、惟光に連れて行ってもらい、亡骸に抱きついて泣いたということです。この時代に、本日の講師の近藤さんがおられて調査をされたら、どのようなことになっていたでしょうか。

今日の講師の卓話、大変楽しみにしております。よろしくお祈りします。

★幹事報告 山城康司幹事

例会臨時変更のお知らせ：豊橋南RC

★委員会報告

親睦活動委員会(度会委員長)
 春の行楽の出発時間変更について

★外部講師の卓話

○講師の紹介 富田高子会員

こんにちは。私は、入会してちょうど一年になります。この一周年の時に、私の取って置き



ある近藤かえでさんをご紹介できることをとても嬉しく思います。知り合ったキッカケは、私が調査を頼んだということではなく、愛知の女性100人で本を出すプロジェクトがありまして、その時のお仲間です。今日は、調査の内容ですとか危機管理についてお話を頂けるといことと、私もとても楽しみにして参りました。どうぞよろしくお祈りします。

○卓話「調査内容の傾向と危機管理」

楓女性調査事務所 近藤かえで氏



こんにちは。楓女性調査事務所の近藤かえでと申します。本日は、富田さんのご紹介でこの席にお招き頂きましたこと、感謝申し上げます。ありがとうございます。

皆さんの中では、この業界はまだまだ不透明な点が多く、また一部の会社の事件等で裁判を起こしておりまして、なかなか皆さんに認知されていない業種でございます。ただ、昨年の6月に、念願の探偵業法の改正によりまして、公安委員会の審査より探偵の証明書の発行が義務付けられました。今年に入りまして、公安委員会の立ち入り調査がございましたが、愛知県内でこの立ち入りによって、立ち入りを拒否、イコール、業務停止という会社が十数件あったと聞いております。これが浄化のキッカケになるといいと思いますが、電話の転送による他店舗展開や現場で探偵をするスタッフの育成については、まだまだ管理が行き届いていませんので、公安委員会のほうでも時間が掛かるということです。ただ私自身は、これを機会に、公安委員会のもとで、この業界が認知されることを強く願っています。

先ほど、探偵をやったキッカケは何かと聞かれましたので、少しお話しします。実は18年前に、日々内容の違う業務であって面白そうな仕事というのを探していました。たまたま新聞広告で探偵募集というところがありまして、そこで面接を受け、女性はいらないとされたのですが、使ってみなければわからないというので、それをキッカケに始めました。最初はお客様の窓口をやらせて頂いておりましたが、そちらの会社は外注を使ってい

まして、24時間の張り込みの報告書が、3行「動き無し」「動き無し」「動き無し」という報告書を頂きまして、私、お客様の窓口としてお客様からお金を頂くことが出来ず、自分自ら現場に出るようになったのです。その後、共同経営を致しましたが、機材、会社の経費すべて持っていかれるという状況がございまして、独立した次第でございます。

この業界に携わりまして18年が経過しました。お陰さまで1件のトラブルもございません。この業界については、トラブルないし問題があり、解決するための現状把握、現実把握という一つのツールと考えております。よりよい、またスピーディーな解決方法を導くための過程と考えております。この業種は、社会情勢やメディアによる流行に反映する業種でもございます。例えば、個人様の調査ですと、「不倫」という言葉が流行しまして、当然そのころには不貞調査、それ以降は、ストーカー、いじめ等が多くございました。企業様においては、バブル期には取引会社についての企業調査や信用調査が多くみられました。現在では、個人調査ですと、不貞調査につきましては、ご主人の調査から奥様の不貞調査が多くなってきています。ストーカーやいじめについては、生命に関わるような悪質な内容にも変わってきております。企業様の調査は、取引会社ではなく、社内、ご自分の会社の中のトラブルの案件も多くなりました。また経費削減のため、もしくは業務向上のために調査をする企業様も増えて参りました。案件をご紹介させて頂きますと、他店舗展開されている企業様の顧客のデータが漏洩している案件。社長様宅に盗聴器が仕掛けられまして、その情報が取引会社へ流出している案件。経費削減のために営業車の移動等の現状把握をし、利益が上がったという案件。これは、従業員を疑うというのではなく、信用を深めるという意味でご依頼を頂きました。ただこれら全てが、会社内の人材が行なうことが認められました。個人様の奥様の不貞についてですが、調査内容や結果から推定しますと、すべて人と人との関わり方について事件やトラブルが発生しているようです。これらは、通信の普及によるものと考えております。例えば接触していない人物と連絡や交際が始まり、ついては犯罪まで行ってしまう。そしてインターネットによる違法機器の販売、またインターネットによる情報の漏洩などがあ

げられます。大変便利な時代になりまして、携帯やパソコンは便利な道具になりましたが、しかしながら、これらを扱うのも人であるということも考えなければいけない時代となりました。個人様においても企業様においても人材とどう関わっていくかが課題になっていくのではないのでしょうか。また私たち自身がどう行動していくべきか、問われる時代でもあり、自己防衛と危機管理が重要と考えております。最近では、内部告発といった言葉をよく聴きますが、先日、東京のコンサルティング会社が、「退社をする人をどう見送るか」という講習を行ないました。内容は、「辞めていく人に花束を渡す」「有給をすべて使わせる」「送迎会を行い辞めていく人間が自分は皆に愛されていると思う見送り方をする」という指導だったそうです。元をたどれば、内部告発をされるような業務をしなければ良いのですが、このような講習が行なわれるということ、皆さんはどのようにお考えになられるのでしょうか。

ここ数年、トラブル後の調査に関わってきましたが、トラブルを未然に防ぐ方法はないかということで、特に人材の育成や管理に着目して活動をしてきました。数年前にある先生との出会いがございました。バイオリズムコーディネーター・ポテンシャルアナライザー・予防カウンセリングという資格をもった先生です。この方が出すデータというものは、アメリカの企業では主流になっておりまして、日本ですと大手自動車会社、そしてプロ野球の監督から選手に向けてなどです。個人のバイオリズムデータを出しまして、この人間がいつ活動すると能力以上のものが発揮できるか、どの時期に休ませるか、どの時点で上からのアドバイスをすると良いのか、といった細かいところのデータも出すことが出来ます。数年頑張りまして、今年の2月にそちらの会社と提携することもできました。これは何かあってからの調査ではなく、できたら皆様にトラブルの前に防げたらということで活動して参りましたので、皆様により良い提供が出来るツールと考えております。皆様に危機管理を提供するということから、当社のオリジナルとしてご提案させて頂きましたが、企業様から発信される顧客へのサービスの提供ができないかという提案でございます。

まず、盗聴器や盗撮の検索です。盗聴器の販売台数が年間30万台、今現在は40万を超

えました。スパイとかではなく、どこの家にも付けられているのが現状です。これを企業様だけでなくお客様にも提供し、より信頼を深め、業績向上にと考えております。

次に三ツ星調査として、多店舗展開やフランチャイズ展開されている企業様への提供です。本部で指導したものが実際にお店で正しく行なわれているかという調査です。盛り付け、出来上がる時間、接客、サービス、そしてお客様の満足度など。私どもが実際のお客様に成り代わり、映像や聞き込みをしてきます。これによりまして、売上げの向上や顧客の満足度向上



などで、大変効果が上がっております。

そして結婚調査ですが、以前はお嫁に行く先の男性の調査が多かったのですが、今はお嫁になる女性の調査が増えています。この調査につきましては、ご本人様の意思が重要ですので、それをご理解頂いた上でしか調査はしません。これは、結婚や出会いを提供する会社への提供になります。

いろいろと調査をしていく中で、警察の方とお話をすることもあります。現在の犯罪の状況ですと、警察の方が5倍から10倍ぐらい必要な状況だといわれております。私どもは、まだまだ認知されておりましたが、今後そのようなところにも貢献していけたらと思っております。

それでは、何か質問等がありましたら、お受けいたします。

質疑応答

Q. 料金はどのようになっていますか?

A. 尾行、不貞調査、盗聴器捜査など、それぞれ名古屋の相場がありますが、うちはリーズナブルな料金でやらせて頂いております。ホームページにも載っていますが、業界初、料金を選べる制度を取り入れていまして、調査内容によってはお客様が選べるようになっています。

Q. 捜査の対象になる人の性格というか傾向はあるのですか？

A. 浮気調査の場合ですが、女性から依頼が来た場合は 99.9%結果が出ます。想像ではなく、憶測でもなく、結果がでます。女性の勘というものは鋭いということになります。大抵の方は結果が出るとお別れになります。男性の方のご依頼で結果が出た場合、離婚になるケースは少ないです。離婚については、ご依頼される側にも原因がありますので、アフターフォローとして、法的な機関はもちろん、女性の自立や心のケアなど提供をさせて頂いております。

Q. 孫がいじめの対象になるのでは心配で……切実なもの問題になる前になんとかする方法はあるのか？

A. クライアントは、だいたいご両親になりますが、依頼をされる方は、お子様を良く見ていない人が多いです。お子様の意見を聞かないご両親が多いです。自分の忙しさや自分のやりたいことは伝えて、子どもが何かを言うタイミングをすべて除去してしまいます。私は調査を頂くとき「まず、お子様をご自分で見て下さい」と言います。ご自分で尾行するなり、今の携帯の機能などを使うことも出来ますので、それをやって頂いた上で、ご両親では何ともならないということであれば、警察や学校にお力を貸して頂いて現状を把握していきます。そして学校の先生や先方のご両親と何度も話し合いをしていく形をとっています。やはり学校側とのコミュニケーションが重要だと思います。私も小さい時にいじめを受けていました。いじめにあっている時には両親に言えないのですね。ですから、ご両親が行動においても、言葉においても、お子様を良く見ていければ大丈夫かと思えます。

Q. ながく探偵業をされ、人の裏表をみられてきて、人間不信になりませんか？

A. よく、結婚できないのではと言われた時期もありました。意外にも、仕事を離れてしまうと誰が見ていようが気にならないのです。男女関係にしても会社トラブルにしても、一方的に責任がないということはありません。人間不信にはなりません。普段は普通の主婦で母親をしています。逆にクライアントの方からお勉強をさせて頂いている状況です。

楓女性調査事務所ホームページ

<http://kaede-tantei.com>

★ニコニコボックス

◎その他

大岩一仁会員 地区協議会の出席御礼
大島嗣雄会員 中日新聞に掲載され
太田 稔会員 事業所創業を祝って頂き

ロータリー豆知識

雑誌月間について

国際ロータリーは、毎年4月を「雑誌月間」と定めています。公式地域雑誌の「ザ・ロータリアン」、日本では「ロータリーの友」の購読を勧めています。

日本のロータリーの友は、1953年1月に創刊されました。1952～53年度から、日本が2地区になることになり、情報の共有化するための機関誌として発行されることになりました。詳しくは、ロータリーの友のホームページをご覧ください。

http://www.rotary.or.jp/tomo/tomo_aumi.html

会報担当者：小野喜明会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。